

意見検討結果一覧表

（案名：大規模公共事業再評価についての意見募集
 対象事業：猿ヶ石川広域河川改修事業（遠野市））

番 号	意 見	検討結果（県の考え方）	決定への 反映状況
1	<p>2023年以降、遠野市をはじめとする岩手県南内陸部は、地球温暖化によってこれまでの関東北部と同じ気候と成る事が考えられる。よって、「福島県や群馬県の豪雨災害」の過去の例を参考にして河川改修を実施する必要が生ずるかもしれない。本案6ページにある「子供が川で遊べるような工事」では《想定外の増水》が発生する可能性がある。過去の岩手の河川改修例は今後は忘れ去り、関東以南での河川改修例をもとにした河川改修事業を行うべきである。</p>	<p>猿ヶ石川では、過去に大規模な浸水被害が発生していることから、治水安全度の向上を図るため河川改修を実施しているところであり、本事業においては、矢崎頭首工より下流区間は50年に1度の確率で発生すると考えられる洪水を、矢崎頭首工より上流区間は10年に1度の確率で発生すると考えられる洪水を安全に流下させることを目標として進めているところです。</p> <p>一方、近年、激甚化・頻発化する豪雨災害の状況を踏まえ、目標を上回る規模の洪水は発生するという認識のもと、住民の円滑かつ迅速な避難を促すため、計画規模の降雨による浸水想定区域図に加え、想定最大規模の降雨（※）による浸水想定区域図を作成・公開しているほか、リアルタイムの水位情報やカメラ画像の公開、一定の水位を超えた場合の市町村への通知、報道機関に対する周知の協力依頼を行うなど、避難に資するための防災情報の提供を実施しているところです。</p> <p>今後も、洪水から県民の暮らしを守るため、河川改修などのハード対策と防災情報の充実強化などのソフト施策を効果的に組み合わせた防災・減災対策を推進していきます。</p> <p>※ 想定最大規模の降雨は、当該河川の流域に過去に降った雨だけでなく、近隣の河川の流域に降った雨は当該河川の流域でも同様に降ると考え、全国を降雨の特性が似ている15の地域に分割し、それぞれの地域において過去に観測された最大の降雨量によって設定しています。本県では、この地域区分のうち「東北東部」「東北西部」のどちらかを適用して、各河川において想定最大規模降雨が年超過確率1/1000年確率程度の降雨量を上回るように設定しています。</p>	D

「決定への反映状況」欄には、次に掲げる区分。

区 分	内 容
A（全部反映）	意見の内容の全部を反映し、計画等の案を修正したもの
B（一部反映）	意見の内容の一部を反映し、計画等の案を修正したもの
C（趣旨同一）	意見と計画等の案の趣旨が同一であると考えられるもの
D（参考）	計画等の案を修正しないが、施策等の実施段階で参考とするもの
E（対応困難）	A・B・Dの対応のいずれも困難であると考えられるもの
F（その他）	その他のもの（計画等の案の内容に関する質問等）